

今月の安全運転管理

みんなで取り組む 1年間の 交通事故防止

①全社一丸となり交通事故防止をすすめよう

- 交通事故防止策を従業員から募ろう
- 従業員参加型の活動を実施しよう

②自社の事故・違反の傾向を把握する

- 前年の事故・違反を分析しよう



今年1年間に取り組む 交通事故防止策を 従業員から募集しよう

あけましておめでとうございます。

新年を迎えて気持ちも新たに今こそ、事業所全体で取り組む交通事故防止策を決定しましょ。

交通事故防止策は、従業員から募集することで、運転者としての当事者意識が芽生えることによって、安全運転に対する態度や意識の向上が期待できます。

募集する際は、「安全運転をする」「事故防止に努める」といった漠然としたものではなく、「時停止の標識のあるところでは、必ず時停止する」「歩行者を見かけたときは、飛出し等に備えて減速する」など、具体的かつ実践可能なものにするようアドバイスします。

ある事業所では、提出された事故防止策から十一点を選び、毎月一点を「今月の事故防止推進目標」として、食堂や掲示板へ掲示して交通事故防止を行っています。

従業員が参加する 交通安全活動を実施しよう

今年一年を通して、従業員参加型の交通安全活動を実施してはいかがでしょうか。

- 毎週事業所の周辺でのぼり旗を掲出して、通行車両に安全運転を呼び掛ける
- 通学児童の横断誘導
- 道路やカーブマークの清掃など、簡単にできることから始めてみましょう。また、輪番制にするなど、多くの従業員が参加できるよう工夫します。
- 従業員がこいつった交通安全活動に参加することで、社内全体の安全意識高揚が期待できるほか、自社のイメージアップにもつながります。
- 効果的に事故・違反を削減するには、まず自社の状況を知る必要があります。そこで、前年に発生した事故や違反を集計すると、一層、実態の把握が可能になります。
- 分析結果を通して、見えてきた事故や違反の傾向から、その対策になる事故違反防止策を策定して、従業員に周知徹底させましょう。
- また、分析結果をグラフや表にまとめて、掲示板やインントラネット等に掲示して、自社の問題点を共有して、交通事故防止の意識向上を図ってください。